

2021年9月

各 位

中部エレクトロニクス振興会  
電 磁 環 境 委 員 会  
委 員 長 野 島 昭 彦

## オンラインセミナー 『EMC 技術者教育【実践編】』開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2年間にわたるコロナ感染対策で、テレワークの対応、ニューノーマルなライフスタイルの実践にご尽力されている事と思います。自動車の世界でも Connected(コネクティッド)Autonomous/Automated(自動化)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)といったいわゆる「CASE」と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、EMC の性能開発も新たな時代に突入しようとしています。

そこで今回、中部エレクトロニクス振興会では、「EMC 技術者教育【実践編】」として、これまで EMC に係る製品開発や試験法開発で、長年、第一線で活躍、リードしつづける日本のトップエキスパートの講師を招いて、長年の実績、知見の一端を語っていただく場を設けました。あらたな課題に直面する EMC の実務者にとって、今後の EMC 開発に対する指針、気づきの場になるものと期待しております。

各企業の皆様におかれましては、本セミナーをご活用いただき、人材の育成、自社事業の発展にお役立っていただきたく、多数のご受講をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

1. 日 時 2021年11月12日(金) 9:15～16:45
2. 内 容 『EMC 試験所の素敵な日々 ～車載製品の EMC 計測・対策を巡るあれこれ～』  
(株)デンソーEMC エンジニアリングサービス 赤堀 一郎 氏  
『電波吸収体と電波暗室, 最近の研究紹介』  
TDK (株) 栗原 弘 氏  
『次の世代の EMC』  
(一財)日本品質保証機構 塚原 仁 氏  
『我がイミュニティ人生・・・』  
(株)ノイズ研究所 石田 武志 氏
3. 環 境 PC やタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要
4. 受講方法 Zoom: 登録メールアドレスに開催 URL を送付
5. 募集人員 70名 ※定員になり次第締め切り
6. 受講料 会員※ 5,000円 非会員 8,000円 (税込・テキスト、送料含む)  
必ず、受講される人数分をお申込みください。
7. 申込期限 10月25日(月)
8. 申込方法 下記申込書にご記入の上、メール・Faxにて下記申込先までお送り下さい。
9. 支払方法 請求書をお送りいたしますので、受講料をご納入下さい。
10. 申込・問合せ 中部エレクトロニクス振興会 事務局 Tel: (052) 661-6476  
Fax: (052) 651-5460 E-mail: cea@eleshin.org

※会員 = 中部エレクトロニクス振興会

◆ EMC 技術者教育【実践編】 ◆

開会の挨拶 9:15～9:20

セミナー① 9:20～10:40

『EMC 試験所の素敵な日々 ～車載製品の EMC 計測・対策を巡るあれこれ～』

株式会社 デンソーEMC エンジニアリングサービス 技術開発部 部長 赤堀 一郎 氏

EMC 試験所で 10 余年、素敵な日々を過ごしています。その間に得た様々な知見の中から教科書や Web 等であまり扱われていないものを中心に紹介します。「モデル化はシンプルに」、「ESD ～奇妙な現象～」、「S パラメータの活用と落とし穴」、「自分が開発した機器の EMC 対策に苦労した話」、「方向性結合器のなぞ」、「電界プローブの等方性あるいは非等方性」、「リッチマンズ グリッドディップメータ」などなどです。

セミナー② 10:50～12:10

『電波吸収体と電波暗室、最近の研究紹介』

TDK 株式会社

技術・知財本部 応用製品開発センター EMC ソリューション開発部 技監 栗原 弘 氏

電気電子機器から放射される放射妨害波の EMC 設計や EMC 対策に欠かせない施設として電波暗室があります。電波暗室の壁面はフェライト吸収体と誘電損失体を組合せた複合型吸収体が広く適用されています。本報告では、複合型吸収体の基本技術及び電波暗室への適用について述べます。また最近の研究として、リバブレーションチャンバー法及び近傍遠方変換技術に関する検討について紹介します。

企業 PR① 13:10～13:25

ビューローベリタスジャパン 株式会社

2021年1月、株式会社アイピーエス東海から社名変更しました。車両搭載用電子機器を対象としたEMC試験、認可取得サービスを提供します。

コネクティッドやセキュリティー分野においても、お客様のニーズにお応えします。

セミナー③ 13:35～14:55

『次の世代の EMC』

一般財団法人 日本品質保証機構 総合製品安全部門 計画室 塚原 仁 氏

自動車 EMC に携わって 30 数年。その間、自動車技術や社会情勢により EMC も大きく変化してきました。

私が見てきた自動車 EMC についてお話しします。

企業 PR② 15:00～15:15

北川工業 株式会社

日本ではまだ数少ない CISPR25 Ed4.0 ANNEX I で規定された EV モーターを駆動状態で EMC 評価が可能な EV-Chamber を導入しました。

今後、自動運転・EV 化が進む中で、新たなサービスを開始しました。

セミナー③ 15:25～16:45

『我がイムニティ人生・・・』

株式会社 ノイズ研究所 商品開発部 上席部長 石田 武志 氏

EMC は、エミッション測定とイムニティ試験に二分され、何れも社会の安心安全を担保するために重要であるが、歴史的にも古く市場規模・関連人口などエミッションに重きが置かれている感覚があります。マイナーイメージがあるイムニティの試験器の開発に関わり、またイムニティ規格の制定に参画している立場からイムニティ試験の問題点、今後の課題を探ります。また EMC 黎明期から規格の制定経緯など、電子機器を取りまくイムニティ環境を紐解きます。

# EMC 技術者教育【実践編】 受講申込書

月 日

## <会社から申込み>

会社名			
住所	〒		
フリガナ 参加者名		所属部署	
電話		E-mail	

※複数名のお申込みの際はコピーしてお使いください。

在宅勤務などで、請求書・テキスト類をご自宅に送付希望の場合は、下記に送付先住所をご記載ください。

請求書・テキスト送付先： 〒  
住所

## <個人申込み>

フリガナ 参加者名			
住所	〒		
電話		E-mail	

※個人申込みの方で、弊社会員企業様にお勤めの方は、会員価格でご受講できます。

欄外にお勤めの企業名をお書き添えください。